

令和 7 年 度

事業報告書



Nara Visitors Bureau

一般財団法人 奈良県ビジターズビューロー

目 次

(事業の内容)

I 旅行商品の造成および販売	1
1 外部専門人材の活用	
2 インバウンド旅行商品販売	
3 国内旅行商品販売	
4 ネット商品販売	
5 WEB(旅行販売サイト)運用業務	
II 魅力ある観光地域づくり促進事業	2
1 在庫管理システムの活用	
2 旅行商品受託販売	
3 奈良ファン倶楽部	
4 奈良仏像カレンダー	
5 アンテナショップ	
6 地域ネットワーク構築	
III 地域連携DMO推進事業	5
1 旅行商品等販売営業活動	
2 奈良県観光情報サイト管理運営及び改修事業	
3 全国広域観光振興支援	
4 観光インフォメーションセンター運営支援	
5 コンサルティング・受託業務	
6 各種行事への協賛	
IV MICE 誘致・開催支援事業	6
1 コンベンション開催誘致支援事業	
2 国際コンベンション運営事業	
3 コンベンション関連団体連携	
財務諸表(収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録)	8
監査報告書	18
役員名簿	19

I 旅行商品の造成および販売

1 外部専門人材の活用

予算額：10,000 千円

決算額：1,878 千円

富裕層誘客の観点から、専門的知見を有する人材を活用し、高付加価値な旅行者受入体制の強化（ホテル誘致・整備）、観光 DX の推進および観光事業者間のネットワークの構築を通して、高いレベルで統一されたサービス提供体制を整備しました。

■受入環境整備：北村 剛史氏（(株)サクラクオリティマネジメント代表取締役）
（奈良県における受入環境整備及び高付加価値体験造成事業）

2 インバウンド旅行商品販売

予算額：34,000 千円

決算額：43,710 千円

海外旅行会社及びランドオペレーター（※国内主要旅行会社含む）への営業、インバウンド向けの旅行商品造成・販売を継続し、誘客促進に繋げました。県中南和「紀伊半島」エリアの周遊型旅行を重点的に取り組みました。

・令和 7 年度販売目標：34,000 千円

■取扱実績：4 月 399 人、5 月 343 人、6 月 359 人、7 月 227 人、8 月 98 人、
9 月 297 人、10 月 400 人、11 月 265 人、12 月 71 人、1 月 102 人、
2 月 223 人、3 月 326 人（合計）3,110 人

3 国内旅行商品販売

予算額：1,000 千円

決算額：707 千円

お客様の希望通りに旅をデザインするオーダーメイド型旅行をベースに日本人向けの旅行商品を造成・販売しました。県中南和「紀伊半島」エリアの周遊型旅行を重点的に取り組みました。

・令和 7 年度販売目標：1,000 千円

■取扱実績：4 月 6 人、5 月 6 人、6 月 2 人、7 月 0 人、8 月 0 人、9 月 3 人、
10 月 4 人、11 月 8 人、12 月 5 人、1 月 0 人、2 月 0 人、3 月 0 人
（合計）34 人

4 ネット商品販売

予算額：3,000 千円

決算額：4,367 千円

旅行者が、直接かつ簡易に予約できる自社の予約販売サイトや外部 OTA を活用し、県内の社寺及び事業者が実施する奈良の特色を活かした魅力ある体験プログラムを数多く発信・販売することで、地域への活性化及び還元に繋げました。

・令和 7 年度販売目標：3,000 千円

(1) 予約販売サイト「奈良体験.com」(「Nara Experience.com」)

■取扱実績：128 件、250 人

(2) 春日大社 参拝旅行企画

「春日大社 参拝旅行企画」の旅行会社への販売促進や手配・精算業務を請け負うことにより手数料を徴収しました。

■設定期間：令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月

■取扱実績：2,657 名

5 WEB（旅行販売サイト）運用業務

予算額：3,300 千円

決算額：2,207 千円

オーダーメイドサイト及び予約サイトの検索順位を上昇させ、WEB サイトの認知度向上を図り、外国人観光客に対する情報環境の整備を行っています。SNS も活用し、若年層への認知度向上を図りました。

II 魅力ある観光地域づくり促進事業

1 在庫管理システムの活用

販売目標：1,000 千円

取扱実績：73 千円

県内事業者が無料で活用可能である商品在庫管理システム「TXJ」および他社 OTA サイト等を活用し、県内事業者の宿泊・体験プログラム・物販をオンライン上で販売することにより、県内消費額の向上に寄与しました。

2 旅行商品受託販売

予算額：3,000 千円

決算額：5,433 千円

(1) 「うまし奈良めぐり実行委員会」事務局運営

奈良県でのオフ期を中心とした宿泊滞在を促進するため「うまし奈良めぐり」観光キャンペーンを展開しました。当ビューローは「うまし奈良めぐり実行委員会」事務局を運営し、商品の企画・広報・販売・オペレーション・精算業務を行いました。

・令和 7 年度集客目標：3,000 名

①うまし奈良めぐり 上半期

■取扱実績：822 名

■設定期間：令和 7 年 4 月～ 9 月

■取扱旅行会社：パーソナル（個人型商品） 4 社（※うち WEB 系 1 社）
エスコート（添乗員付き商品）7 社、直販（WEB・電話）

■プロモーション実績：首都圏・九州・関西・その他、過去に取扱のあった関係
旅行会社へメール・電話等による情報提供を実施

②うまし奈良めぐり 下半期

■取扱実績：2,565 名

■設定期間：令和 7 年 10 月～令和 8 年 3 月

■取扱旅行会社：パーソナル（個人型商品） 5 社（※うち WEB 系 1 社）
エスコート（添乗員付き商品）17 社、直販（WEB・電話）

■プロモーション実績：首都圏・九州・関西・その他、過去に取扱のあった関係
旅行会社へメール・電話等による情報提供を実施

（2）東大寺二月堂修二会（お水取り）セミナー

例年、奈良を代表する伝統行事の意義・歴史・行法を正しく伝えるセミナーを実施し、旅行会社及び地元宿泊施設の宿泊プラン等により販売を行うとともに、当ビューローが「東大寺二月堂修二会（お水取り）セミナー実行委員会」の事務局を運営し、商品の企画・販売・オペレーション・精算業務を行ってまいりましたが、コロナ禍以降の受入状況を鑑み、令和元年度以降は全ての開催を取り止めました。

3 奈良ファン倶楽部

予算額：2,400 千円

決算額：3,256 千円

令和 7 年度は、奈良の歴史・文化を深堀する「解説付き特別拝観」の実施等を通じて、コアな“奈良ファン”を創出しました。併せて、積極的に情報発信（メールマガジン）を活用し配信を行い、奈良県内への誘客、ファン倶楽部活動の認知度向上に努めました。

■解説付き特別拝観 実施回数：12 回 ■延べ講座参加人数：452 名

■会員数：531 名 ■配信回数：15 回 ■開封率：74.12%

4 奈良仏像カレンダー

予算額：6,400 千円

決算額：8,646 千円

県内の魅力溢れる仏像を、高精細な画質で紹介する「奈良仏像カレンダー」を制作し、WEB ショップ・奈良県内外の委託店舗で販売を行い、奈良県の祈りの歴史を全国へ

PR しました。(平成 8 年度から制作・販売し、令和 7 年度は 30 作目。)

◆販売価格：2,500 円(税込み、一般販売価格)

2,000 円(税込み、奈良ファン倶楽部・賛助会員価格)

◆送料 1 ヲ所につき 900 円(一部地域は異なる)

◆制作部数：4,500 部

◆販売場所：全国の書店、ミュージアムショップ、郵便振替、オンラインショップ等

5 アンテナショップ

予算額：60,000 千円

決算額：70,669 千円

県が外国人向けの宿泊施設として運営した「奈良県外国人観光客交流館(奈良県猿沢イン)」において、県中南和をはじめとする県内全域の地場産品等を販売するアンテナショップ兼コンビニエンスストアを運営しました。地場産品の取り扱いを強化するとともに、外国人目線での取扱商品の開拓や旅行事業・MICE 事業との連携による地場産品の販売に取り組み、地産地消を推進しました。

なお、同アンテナショップは奈良県猿沢インの閉館に伴い、令和 8 年 3 月をもって営業を終了しました。

・令和 7 年度販売目標：60,000 千円

6 地域ネットワーク構築

予算額：110,000 千円

決算額：22,023 千円

各地域の様々な社寺や事業者との強固なネットワーク構築を図り、国庫補助を活用した受入環境整備や地域の経済活性化を目指しています。

(1) 地域観光資源の多言語解説整備支援事業

観光地(社寺以外も含む)では、訪日外国人旅行者の 9 割以上が解説文を読んでいるが、既存の解説文は、訪日外国人旅行者にとって、観光地の魅力をわかりやすく伝えられていないことがあります。そのため、日本語原稿をそのまま単純に翻訳するのではなく、ネイティブのライターが英文を書きおろし、ネイティブの編集者がブラッシュアップすることでネイティブ目線から解説文を制作しました。

(2) 地方創生プレミアムインバウンドツアー集中展開事業

興福寺で僧侶と共にマインドフルネス(瞑想)を行う、極上かつ本物のプレミアムインバウンドツアーを催行しました。寺院の建築や文化財だけでなく、寺院を存続させている僧侶や仏法理念・修行・儀式すなわち日本の精神文化までも観光資源に取り入れていく試みでした。

Ⅲ 地域連携DMO推進事業

1 旅行商品等販売営業活動

予算額：1,000 千円

決算額：286 千円

国内外を問わず、地域活性化に向けて着地型旅行商品や特産品等を販売していくために営業展開を行いました。

2 奈良県観光情報サイト管理運営及び改修事業

【管理運営】

【改修事業】

予算額：6,217 千円

予算額：17,479 千円

決算額：6,220 千円

決算額：17,479 千円

県公式サイト「あをによしなら旅ネット」を管理運営し、県内の社寺・市町村・交通事業者等から収集した観光情報を発信することで、観光客の利便性向上や情報収集満足度を高めるとともに、SNSによる情報発信にも積極的に取り組み、奈良ファンの創出、誘客促進に繋げました。また、情報発信から商品の購入に直接つなげ、奈良県の消費額アップに貢献しました。

- ・奈良県内の旬な観光情報やおすすめプラン、モデルコース等の掲載
- ・掲載された情報から購入サイト（オンラインショップ）への誘導
- ・各事業と連携した企画の情報発信
- ・令和7年度目標：1,000 万 PV

■令和年7度 PV 数：7,931,790 ページビュー

また、システムの老朽化に伴い改修を実施しました。

- ・サーバの老朽化に伴う奈良県観光公式サイト「あをによしなら旅ネット」PHP 基盤バージョンアップ
- ・プログラムサポート終了に伴う「奈良県観光公式アプリ」新 OS 対応バージョンアップ

3 全国広域観光振興支援

予算額：2,201 千円

決算額：2,201 千円

公益社団法人日本観光振興協会が実施する広域連携による観光振興（観光展の開催、観光資料の作成）、人材の育成等の事業に参画しました。

- ◆「ほんまええとこ関西観光展 in 横浜」への出展参画
- ◆観光ガイドマップ「ウェルカム関西」等への観光情報の提供
- ◆インスタグラマーを活用した発信、台湾における Facebook を活用した情報発信、SNS キャンペーンの実施

4 観光インフォメーションセンター運営支援

予算額：8,317 千円

決算額：8,329 千円

東大寺や夢風ひろば内において、外国人観光客等に観光案内業務を行う「奈良県観光インフォメーションセンター」を管理運営し、SNS 等を利用した情報発信の強化並びに利便性の向上を図りました。

東大寺内センターでは、今年度も株式会社 JR 東海ツアーズの旅行商品「ずらし旅」における特典「ずらし旅 選べる体験ご利用券」の受付・セット券引き換えを継続して行い、年間 337 名のご利用がありました。

■令和 7 年度来所者数（夢風ひろば内は外国人のみカウント、東大寺内は来館者数）

夢風ひろば	4 月 10,943 人、5 月 8,321 人、6 月 7,561 人、7 月 8,836 人、 8 月 8,132 人、9 月 6,307 人、10 月 8,757 人、11 月 8,282 人、 12 月 6,323 人、1 月 4,376 人、2 月 4,479 人、3 月 9,115 人
東大寺内	4 月 6,677 人、5 月 4,985 人、6 月 3,465 人、7 月 3,128 人、 8 月 3,373 人、9 月 3,095 人、10 月 4,578 人、11 月 3,144 人、 12 月 1,792 人、1 月 1,448 人、2 月 1,589 人、3 月 2,640 人

5 コンサルティング・受託業務

予算額：65,000 千円

決算額：71,680 千円

地域連携 DMO としてあらゆる観光産業に関する業務の企画・運営・アドバイスを
行うコンサルティング業務と、イベント及び市町村の観光案内所（橿原市観光交流セ
ンター）等の管理運営業務を受託することで、地域観光経済の活性化に繋がりました。

◆橿原市観光交流センター指定管理業務（業務期間：令和 5 年度から 3 年間）

6 各種行事への協賛

予算額：1,200 千円

決算額：773 千円

奈良県内への誘客促進を図る各関連団体及び各種行催事への協賛、実行委員会等への参画により側面的支援を行いました。

IV MICE 誘致・開催支援事業

1 コンベンション開催誘致支援事業

予算額：20,338 千円

決算額：18,343 千円

首都圏を含む大学・学会等のキーパーソンへの誘致セールスを強化するとともに、

県観光局と連携した営業活動を展開し、新規案件の開拓と誘致促進に取り組みました。

また、県観光局と IBTM World 2025 や IME 2026 へ参加し、国内外エージェントや学会事務局担当者に対して商談を行い、学会やインセンティブツアー案件の早期把握及び誘致に努めました。

併せて、各種助成金制度や看板支援を活用し、主催者ニーズに応じた支援を実施しました。特に既存助成金制度（大規模・国内・奈良らしい MICE）に加え、ICCA 基準を満たす国際会議を対象とした新たな助成金制度を創設し、国際コンベンションの誘致強化と MICE 都市としての認知度向上を図りました。その結果、「大規模コンベンション・奈良らしい MICE」助成金の採択件数・助成金額が増加するとともに、国際会議助成制度の新規活用が進み、コンベンション誘致の裾野拡大に繋がりました。

2 国際コンベンション運営事業

予算額：7,150 千円

決算額：5,750 千円

経済効果の高い国際会議を中心とした誘致支援活動を展開するため、国際会議主催者に対して「国際コンベンション開催助成金」の活用を促し、奈良県内での開催動機と今後のリピート率向上に繋げるとともに、開催会場への看板支援や参加者に提供する支援ツールの作成等、充実した国際コンベンション運営サポートを実施しました。

3 コンベンション関連団体連携

予算額：1,470 千円

決算額：1,470 千円

アフターコンベンション等での活用にも有効である奈良県内の各種行事・各関連団体等に協賛することにより、県内各地域に対してコンベンション波及効果に伴う還元を図るとともに、各地域との更なる連携強化に努めました。

■令和 7 年度誘致支援実績

・ 85 件（国内 56 件、国際 18 件、スポーツ 11 件）

収 支 計 算 書

令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
(1) 国庫補助金等収入	120,000,000	16,875,420	-103,124,580
国庫補助金（観光庁等）	120,000,000	16,875,420	-103,124,580
(2) 奈良県補助金収入	144,933,000	142,938,464	-1,994,536
奈良県補助金収入（人件費）	90,382,000	90,382,000	0
奈良県補助金（人件費）	90,382,000	90,382,000	0
奈良県補助金収入（事業費）	54,551,000	52,556,464	-1,994,536
奈良県観光情報サイト管理運営	6,217,000	6,217,000	0
奈良県観光情報サイト改修事業	17,479,000	17,479,000	0
コンベンション開催誘致支援	20,338,000	18,343,464	-1,994,536
全国広域観光振興支援	2,200,000	2,200,000	0
観光インフォメーションセンター運営支援	8,317,000	8,317,000	0
(3) 奈良市負担金収入等	18,620,000	17,220,000	-1,400,000
国際コンベンション開催助成金	3,000,000	1,600,000	-1,400,000
運営事業補助	14,150,000	14,150,000	0
コンベンション関連団体との連携	1,470,000	1,470,000	0
(4) 商工会議所補助金収入	556,000	556,000	0
商工会議所補助金	556,000	556,000	0
(5) 会費収入	9,539,000	10,260,000	721,000
正会員会費収入	9,539,000	10,260,000	721,000
(6) 基本財産運用収入	1,731,555	1,764,005	32,450
基本財産利息収入	1,731,555	1,764,005	32,450
(7) 受託事業収入	68,000,000	77,113,163	9,113,163
コンサルティング・受託事業	65,000,000	71,679,772	6,679,772
旅行商品受託販売手数料	3,000,000	5,433,391	2,433,391
(8) 事業収入	107,600,000	131,910,509	24,310,509
インバウンド旅行商品販売収入	34,000,000	43,710,275	9,710,275
国内旅行商品販売収入	1,000,000	707,400	-292,600
ネット商品販売収入	3,000,000	4,366,878	1,366,878
アンテナショップ販売収入	60,000,000	70,668,885	10,668,885
コンベンション関連事業収入	800,000	555,801	-244,199
奈良ファン倶楽部会費等収入	2,400,000	3,255,500	855,500
奈良仏像カレンダー販売収入	6,400,000	8,645,770	2,245,770
(9) その他収入	200,000	19,553	-180,447
その他収入（雑収入等）	200,000	19,553	-180,447
事業活動収入計	471,179,555	398,657,114	-72,522,441
2. 事業活動支出			
(1) 事業費支出	349,272,000	258,314,291	90,957,709
インバウンド向け旅行商品販売	43,300,000	35,184,705	8,115,295
外部専門人材の活用	10,000,000	1,877,970	8,122,030
ファトリップ 実施・海外事業者との関係構築	5,000,000	0	5,000,000
インバウンド旅行商品販売	25,000,000	31,100,235	-6,100,235
WE B運用業務	3,300,000	2,206,500	1,093,500
魅力ある観光地域づくり促進事業	180,600,000	106,112,289	74,487,711
国内旅行商品販売	600,000	628,920	-28,920
ネット商品販売	1,800,000	4,546,188	-2,746,188
奈良ファン倶楽部	1,800,000	2,282,568	-482,568
奈良仏像カレンダー	6,400,000	6,852,813	-452,813
アンテナショップ	60,000,000	69,778,700	-9,778,700
地域ネットワーク構築	110,000,000	22,023,100	87,976,900
地域連携DMO推進事業	96,414,000	91,453,575	4,960,425
JRキャンぺ ーン連携	2,500,000	0	2,500,000
奈良県観光キャンぺ ーン連携	2,500,000	0	2,500,000

収 支 計 算 書

令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
旅行商品販売営業活動	1,000,000	285,711	714,289
奈良県観光情報サイト管理運営	6,217,000	6,219,600	-2,600
奈良県観光情報サイト改修事業	17,479,000	17,479,000	0
全国広域観光振興支援	2,201,000	2,200,550	450
観光イノベーションセンター運営支援	8,317,000	8,328,895	-11,895
コンサルティング・受託業務	55,000,000	56,166,516	-1,166,516
各種行事等への協賛	1,200,000	773,303	426,697
コンベンション誘致・開催支援事業	28,958,000	25,563,722	3,394,278
コンベンション開催誘致支援	20,338,000	18,343,464	1,994,536
国際コンベンション運営	7,150,000	5,750,000	1,400,000
コンベンション関連団体連携	1,470,000	1,470,258	-258
(2) 管理費	123,832,097	121,616,393	2,215,704
人件費(奈良県補助金)	90,382,000	90,382,000	0
人件費(奈良市補助金)	10,000,000	10,000,000	0
人件費	16,450,097	11,565,664	4,884,433
管理費	7,000,000	9,668,729	-2,668,729
事業活動支出計	473,104,097	379,930,684	93,173,413
事業活動収支差額	-1,924,542	18,726,430	20,650,972
Ⅱ 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
Ⅲ 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
Ⅳ 予備費支出	0		
当期収支差額	-1,924,542	18,726,430	20,650,972
前期繰越収支差額	42,460,721	39,758,359	-2,702,362
次期繰越収支差額	40,536,179	58,484,789	17,948,610

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、下記の科目を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記 2 に記載するとおりである。

現 金
普通預金
郵便貯金
未 収 金
前 払 金
仮 払 金
立 替 金
貯 蔵 品
未 払 金
前 受 金
前受会費
預 り 金
賞与引当金
仮 受 金

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

システムの仕様上、流動負債はマイナスでの表示となっている。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
現金預金				
現金	650,082	0	294,940	355,142
普通預金	17,233,659	66,975,237	0	84,208,896
郵便貯金	487,950	3,285,900	0	3,773,850
その他流動資産				
未収金	113,312,320	0	104,540,307	8,772,013
前払金	842,190	0	440,780	401,410
仮払金	5,500	144,500	0	150,000
立替金	5,636,431	0	1,745,748	3,890,683
貯蔵品	73,527	0	13,460	60,067
流動資産合計	138,241,659	70,405,637	107,035,235	101,612,061
未払金	-88,966,290	0	-54,957,790	-34,008,500
前受金	-3,000	0	-3,000	0
前受会費	-1,239,000	0	-137,000	-1,102,000
預り金	-1,048,185	-47,556	0	-1,095,741
賞与引当金	-7,226,825	0	-305,794	-6,921,031
仮受金				
流動負債合計	-98,483,300	-47,556	-55,403,584	-43,127,272
合 計	39,758,359	70,358,081	51,631,651	58,484,789

貸 借 対 照 表

令和 8年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	88,337,888	18,371,691	69,966,197
未収金	8,772,013	113,312,320	-104,540,307
前払金	401,410	842,190	-440,780
仮払金	150,000	5,500	144,500
立替金	3,890,683	5,636,431	-1,745,748
貯蔵品	60,067	73,527	-13,460
商品	4,333,242	2,945,083	1,388,159
流動資産合計	105,945,303	141,186,742	-35,241,439
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	200,000,000	200,000,000	0
定期預金	18,500,000	18,500,000	0
基本財産合計	218,500,000	218,500,000	0
(2) 特定資産			
(3) その他固定資産			
什器備品	393,516	542,000	-148,484
ソフトウェア	588,000	1,092,000	-504,000
保証金	4,000,000	4,000,000	0
その他固定資産合計	4,981,516	5,634,000	-652,484
固定資産合計	223,481,516	224,134,000	-652,484
資産の部合計	329,426,819	365,320,742	-35,893,923
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	34,008,500	88,966,290	-54,957,790
前受金	0	3,000	-3,000
前受会費	1,102,000	1,239,000	-137,000
預り金	1,095,741	1,048,185	47,556
賞与引当金	6,921,031	7,226,825	-305,794
流動負債合計	43,127,272	98,483,300	-55,356,028
2 固定負債			
負債の部合計	43,127,272	98,483,300	-55,356,028
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	218,500,000	218,500,000	0
指定正味財産合計	218,500,000	218,500,000	0
(うち基本財産への充当額)	(218,500,000)	(218,500,000)	(0)
2 一般正味財産	67,799,547	48,337,442	19,462,105
正味財産の部合計	286,299,547	266,837,442	19,462,105
負債及び正味財産合計	329,426,819	365,320,742	-35,893,923

正 味 財 産 増 減 計 算 書

令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,764,005	1,734,721	29,284
基本財産受取利息	1,764,005	1,734,721	29,284
受取会費	11,844,000	11,344,000	500,000
正会員受取会費	10,260,000	9,619,000	641,000
奈良ファン倶楽部会員受取会費	1,584,000	1,725,000	-141,000
事業収益	133,134,339	118,032,518	15,101,821
事業収益	9,977,127	1,982,595	7,994,532
奈良仏像カレンダー販売収益	8,645,770	6,895,256	1,750,514
インバウンドプログラム販売収益	36,966,395	36,388,889	577,506
着地型旅行商品販売収益	4,971,878	4,342,291	629,587
奈良F C事業収益	1,671,500	806,780	864,720
コンベンション関連事業収益	555,801	738,529	-182,728
各種印刷物販売収益	102,400	226,672	-124,272
アンテナショップ販売収益	70,243,468	66,651,506	3,591,962
受取補助金等	160,369,884	238,932,991	-78,563,107
受取国庫補助金	16,875,420	125,051,191	-108,175,771
受取地方公共団体補助金	142,938,464	113,325,800	29,612,664
受取民間補助金	556,000	556,000	0
受取負担金	17,220,000	18,266,705	-1,046,705
受取負担金	17,220,000	18,266,705	-1,046,705
受取寄付金	21,743	4,500	17,243
受取寄付金	21,743	4,500	17,243
事業受託収益	68,156,767	65,641,189	2,515,578
事業受託収益	68,156,767	65,641,189	2,515,578
雑収益	6,146,376	3,549,378	2,596,998
受取利息	19,553	6,118	13,435
受託販売手数料収益	5,433,391	2,917,287	2,516,104
雑収益	693,432	625,973	67,459
経常収益計	398,657,114	457,506,002	-58,848,888
(2) 経常費用			
事業費	369,526,275	448,998,489	-79,472,214
旅行商品原価	729,944	1,249,109	-519,165
体験プログラム原価	63,720	0	63,720
春日大社参拝旅行企画原価	4,021,940	2,877,400	1,144,540
インバウンド旅行商品原価	24,077,418	22,443,652	1,633,766
仕入	51,516,876	50,301,396	1,215,480
給料手当	105,677,071	100,698,459	4,978,612
退職給付費用	240,431	0	240,431
賞与引当金繰入額	6,921,031	7,226,825	-305,794
福利厚生費	20,047,105	18,486,159	1,560,946
旅費交通費	2,374,148	2,082,786	291,362
通信運搬費	2,799,962	2,715,102	84,860
減価償却費	652,479	1,790,621	-1,138,142
消耗品費	653,658	1,932,837	-1,279,179
修繕費	2,717,561	839,300	1,878,261
印刷製本費	723,275	516,225	207,050
新聞図書費	42,985	31,250	11,735
広告宣伝費	178,889	1,149,430	-970,541
燃料費	493,561	232,945	260,616
光熱水料費	8,742,138	9,180,134	-437,996
賃借料	9,760,917	9,779,692	-18,775
保険料	613,108	593,023	20,085
諸謝金	1,083,455	809,718	273,737
租税公課	201,350	322,960	-121,610
支払負担金	4,096,000	3,552,000	544,000

正味財産増減計算書

令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
支払補助金	480,000	910,000	-430,000
支払助成金	14,290,850	8,777,000	5,513,850
支払寄付金	729,000	712,500	16,500
委託費	95,677,280	191,028,811	-95,351,531
研修費	14,350	0	14,350
支払手数料	5,153,912	5,051,892	102,020
カード手数料	51,481	41,022	10,459
カレンダー販売手数料	1,110,983	996,580	114,403
雑費	3,589,397	2,589,624	999,773
その他事業費	0	80,037	-80,037
管理費	9,597,729	9,708,171	-110,442
福利厚生費	146,259	138,458	7,801
会議費	204,248	192,788	11,460
旅費交通費	51,620	35,360	16,260
通信運搬費	483,523	428,220	55,303
消耗品費	62,792	120,438	-57,646
修繕費	0	77,361	-77,361
印刷製本費	164,674	139,519	25,155
新聞図書費	7,665	24,840	-17,175
燃料費	0	97,124	-97,124
光熱水料費	251,904	248,424	3,480
賃借料	2,778,370	2,925,354	-146,984
諸謝金	600,000	600,000	0
租税公課	2,605,150	2,464,300	140,850
支払負担金	329,473	390,000	-60,527
支払補助金	10,000	0	10,000
委託費	1,083,720	1,603,360	-519,640
支払手数料	229,288	200,525	28,763
雑費	589,043	22,100	566,943
経常費用計	379,124,004	458,706,660	-79,582,656
評価損益等調整前当期経常増減額	19,533,110	-1,200,658	20,733,768
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	19,533,110	-1,200,658	20,733,768
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除去損	5	0	5
固定資産除去損	5	0	5
経常外費用計	5	0	5
当期経常外増減額	-5	0	-5
税引前当期一般正味財産増減額	19,533,105	-1,200,658	20,733,763
法人税、住民税及び事業税	71,000	71,000	0
当期一般正味財産増減額	19,462,105	-1,271,658	20,733,763
一般正味財産期首残高	48,337,442	49,609,100	-1,271,658
一般正味財産期末残高	67,799,547	48,337,442	19,462,105
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	218,500,000	218,500,000	0
指定正味財産期末残高	218,500,000	218,500,000	0
III 正味財産期末残高	286,299,547	266,837,442	19,462,105

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

購入時の取得価額。ただし、取得価額と債券金額の差額について、重要性が乏しいものについては、取得価額を貸借対照表表示価額としている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品は最終仕入原価法による原価法によっている。

商品は売価還元法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産（リース資産を除く）

定率法によっている。

②無形固定資産

定額法によっている。なお、補助金により取得した固定資産については、「固定資産圧縮勘定」を設けて圧縮記帳処理を行っている。

(4) 引当金の計上基準

①賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち、当期に属する金額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券				
東京電力パワーグリッド(株)第41回社債	100,000,000	0	0	100,000,000
奈良県令和5年度第3回公募公債(20年)	100,000,000	0	0	100,000,000
小 計	200,000,000	0	0	200,000,000
定期預金	18,500,000	0	0	18,500,000
小 計	18,500,000	0	0	18,500,000
合 計	218,500,000	0	0	218,500,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定 正味財産から の充当額)	(うち一般 正味財産から の充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券				
東京電力パワーグリッド(株)第41回社債	100,000,000	(100,000,000)	(0)	(0)
奈良県令和5年度第3回公募公債(20年)	100,000,000	(100,000,000)	(0)	(0)
小 計	200,000,000	(200,000,000)	(0)	(0)
定期預金	18,500,000	(18,500,000)	(0)	(0)
小 計	18,500,000	(18,500,000)	(0)	(0)

科 目	当期末残高	(うち指定 正味財産から の充当額)	(うち一般 正味財産から の充当額)	(うち負債に 対応する額)
合 計	218,500,000	(218,500,000)	(0)	(0)

4. 担保に供している資産

担保物件なし

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却 累計額	当期末残高
什器備品	899,800	506,284	393,516
ソフトウェア	2,520,000	1,932,000	588,000
合 計	3,419,800	2,438,284	981,516

6. 保証債務（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務

保証債務なし

7. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
東京電力パワーグリッド(株)第41回社債	100,000,000	99,630,000	-370,000
奈良県令和5年度第3回公募公債(20年)	100,000,000	75,310,000	-24,690,000
合 計	200,000,000	174,940,000	-25,060,000

8. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上 の記載区分
観光振興事業費補助金	観光庁	0	1,875,420	1,875,420	0	—
プレミアムインパクトア集中展開事業費補助金	観光庁	0	15,000,000	15,000,000	0	—
人件費補助金	奈良県	0	90,382,000	90,382,000	0	—
事業費補助金	奈良県					
コンベンション開催誘致支援事業		0	20,338,000	18,343,464	1,994,536	流動負債
全国広域観光振興支援事業		0	2,200,000	2,200,000	0	—
奈良県観光インフォメーションセンター運営事業		0	8,317,000	8,317,000	0	—
奈良県観光情報サイト管理運営事業		0	6,217,000	6,217,000	0	—
奈良県観光公式サイト改修事業		0	17,479,000	17,479,000	0	—

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
奈良県商工会議所補助金(奈良商工会議所)	—	0	556,000	556,000	0	—
合 計		0	162,364,420	160,369,884	1,994,536	

9. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

(単位：円)

属性	法人等の名称	住所	資産総額	事業の内容又は職業	議決権の所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額	科目	期末残高
						役員の兼務等	事業上の関係				
支配法人	奈良県	奈良市内	0	地方公共団体	—	—	補助受取	受取補助金	142,938,464	—	0

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記に記載していることから、附属明細書への記載を省略している。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	7,226,825	6,921,031	7,226,825	0	6,921,031

財 産 目 録

令和 8年 3月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金預金			88,337,888
	未収金			8,772,013
	前払金			401,410
	仮払金			150,000
	立替金			3,890,683
	貯蔵品			60,067
	商品			4,333,242
流動資産合計				105,945,303
(固定資産)				
基本財産	投資有価証券	南都銀行 県庁出張所	運用益を事業に充当	200,000,000
	定期預金			18,500,000
特定資産				
その他固定資産	什器備品	事務所内	防犯カメラ・展示用備品	393,516
	ソフトウェア	事務所内	TXJシステム一式	588,000
	保証金			4,000,000
固定資産合計				223,481,516
資産合計				329,426,819
(流動負債)				
	未払金			34,008,500
	前受会費			1,102,000
	預り金			1,095,741
	賞与引当金		職員の賞与給付の引当金	6,921,031
流動負債合計				43,127,272
(固定負債)				
固定負債合計				0
負債合計				43,127,272
正味財産				286,299,547

監 査 報 告 書

令和7年度一般財団法人奈良県ビジターズビューローの監査をした結果について、下記のとおり報告します。

記

1. 監査方針及び実施方法

令和6年度監査に係る令和7年5月14日付け監査報告書における監査結果の状況を踏まえ、令和7年度の監査に当たっては、監事監査補助員を選任するなど、令和6年度監査に準じる体制で監査を実施すべきであることを監事の協議により決定しました。

この方針に従い、令和8年5月14日、2名の監事及び4名の監事監査補助員が、当法人において令和7年度に係る事業報告書及び計算関係書類をはじめ重要な決裁書類・会計書類等を閲覧するとともに、事務局から状況を聴取しました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告書は、法令及び定款に従い当法人の状況を正しく示しているものと認めます。

(2) 計算関係書類は、当法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上

令和8年5月18日

監 事 安田 太津子



監 事 田沢 篤彦



奈良県ビジターズビューロー役員名簿

令和8年5月26日現在

役職	氏 名	組織名	役職名
理事長	山下 真	奈良県	奈良県知事
副理事長	仲川 げん	奈良市	奈良市長
副理事長	橋本 隆史	奈良商工会議所	会頭
専務理事	竹田 博康	奈良県ビジターズビューロー	専務理事
理事	上司 永照	東大寺	執事長
理事	藤岡 信宏	春日大社	禰宜
理事	川俣 海淳	長谷寺	住職
理事	五條 永教	金峯山寺	執行長
理事	乾 昌弘	株式会社明新社	代表取締役社長
理事	朝廣 佳子	株式会社読売奈良ライフ	代表取締役社長
理事	佐野 純子	奈良インターカルチャー	代表
理事	川端 規央	大和まちづくりネットワーク	代表
理事	古賀 裕介	西日本旅客鉄道株式会社 マーケティング本部 鉄道マーケティング部 近畿営業部	観光推進室長
理事	佃 侑壱郎	近畿日本鉄道株式会社 創造本部	観光開発・地域共創部長
理事	田中 耕造	奈良交通株式会社	代表取締役社長
理事	小川 雅也	東海旅客鉄道株式会社 広報部	東京広報室長
理事	伊藤 隆司	奈良県旅館・ホテル生活衛生同業組合	理事長
理事	下谷 幸司	奈良県旅館・ホテル生活衛生同業組合	奈良支部長/副理事長
理事	増田 将也	奈良県旅館・ホテル生活衛生同業組合	吉野山支部長/副理事長
理事	天野 三恵子	株式会社JTB 奈良支店	支店長
理事	沖田 敏孝	近畿日本ツーリスト株式会社 奈良支店	支店長
理事	亀田 忠彦	橿原市	橿原市長
理事	中井 章太	吉野町	吉野町長
監事	田沢 篤彦	株式会社南都銀行	公務・地域共創部長
監事	安田 太津子	奈良県	会計管理者

奈良県ビジターズビューロー評議員名簿

令和8年5月26日現在

役職	氏 名	組織名	役職名
評議員	植田 俊應	奈良大和四寺巡礼の会	代表代行
評議員	常盤 勝範	壺阪寺	住職
評議員	道上 昌幸	石上神宮	宮司
評議員	田中 篤則	株式会社奈良新聞	代表取締役社長
評議員	上村 晴彦	NHK奈良放送局	局長
評議員	福野 博昭	奈良テレビ放送株式会社	代表取締役社長
評議員	池田 将也	一般社団法人 奈良青年会議所	理事長
評議員	栗原 圭一	奈良県農業協同組合	代表理事理事長
評議員	栗田 晃治	奈良県	観光局長
評議員	松本 賀史	奈良市	観光経済部長
評議員	戸田 高志	橿原市	魅力創造部長
評議員	永井 聡	吉野町	副町長